

鎌北湖の耐震化対策整備事業を行っています



平成 25 年度に鎌北湖の一斉点検および耐震調査を行ったところ、堤防の耐震性が基準を下回ったため、平成 29 年度から埼玉県が耐震化対策事業に着手しています。昨年 10 月から鎌北湖の水を抜き始め、現在、ほぼ水が抜き終わった状態です。なお、水抜きに伴い、釣りやボートの営業は休止しています。令和 3 年 3 月までに耐震補強工事を終了させ、令和 3 年 4 月から水を貯め始める予定です。平成 10 年度から 11 年度にも湖底の泥をさらう浚渫工事で水を抜いており、湖底が姿を現すのは 22 年ぶりになります。

鎌北湖の歴史

鎌北湖は正式名称を「山根貯水池」といい、農業用貯水池として造られた人造湖です。昭和 4 年に着工され、総事業費は約 20 万 3,482 円 53 銭、就労のべ人員は 11 万 3,761 人の大工事のすえ、昭和 10 年に完成しました。鎌北湖と命名されたのは昭和 27 年ごろで、昭和 30 年代から 50 年代ごろには花火大会も行われていました。当時のことを知っている方の話では、ワカサギがたくさん釣れ、冬には湖の全面が凍結し、スケートも楽しめたそうです。



▲鎌北湖 湖水祭り（昭和 51 年 7 月 24 日）
左下に見える建物が鎌北湖用水管理棟です。



▲完成間近の鎌北湖（昭和 9 年末）
多くの人たちが働いていた様子がわかります。